

令和3年度士別市総合教育会議（第2回） 会議録

- 1 日 時 令和3年11月8日（月） 午後1時26分～午後2時13分
- 2 場 所 士別市役所2階 会議室201
- 3 出席者 **【構成員】** 渡辺市長、中峰教育長、馬場教育長職務代理者、加藤教育委員、
山田教育委員、多田教育委員
【事務局】 ・教育委員会 三上生涯学習部長、須藤学校教育課長、坂本合
宿の里・スポーツ推進課長、武山社会教育課長
・総務部 大橋企画課長
- 4 報 道 2名
- 5 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告審議事項
 - ・報告第1号 当面の教育政策について
 - ・審議第1号 士別市教育大綱について
 - ・審議第2号 士別市まちづくり総合計画「第2期実行計画・展望計画」
について
 - ・審議第3号 令和4年度予算編成について
 - 4 その他
 - 5 閉会

1 開会

●三上生涯学習部長

はじめに、渡辺市長からご挨拶いただき、その後、議長として進行願う。

2 あいさつ

●渡辺市長

あいさつ要旨

お忙しいところ教育委員の皆さんにお集まりいただき、心強く思っている。私が市長に就任し、初めての総合教育会議であり、改めてよろしく願います。

1 1月2日には新たに就任した多田委員に辞令を交付したところである。

教育委員会制度については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正によって2015年4月から教育委員長の職が廃止されたほか、首長が教育施策である「大綱」を策定し、総合教育会議を設置するなど変更されてきた。

本市の教育大綱では「すべての子どもたちが、士別で育ち・学ぶことに誇りを持つ」との理念のもと政策を立案し実行している。

子どもに関するいじめについては、東京都町田市でGIGAスクール構想によって整備した端末を使用した事案が発生するなど、より注意が必要な状況が生じていると感じている。

こうした問題のほか、教育に関する様々な課題について、この場で情報共有するとともに調整を図っていきたい。

3 報告審議事項

報告第1号

●渡辺市長

「当面の教育政策」について、10月8日に市議会において所信表明を行った。市長選挙に立候補した際の「政策骨子」を基に説明する。

「学力向上への支援と魅力ある学校づくり」の施策として、

- ・所得による教育格差をなくし、学力向上のための環境を整えること。
- ・高等学校存続へ向けた魅力化支援や生徒数確保に向けた支援で、地域の学校を守ること。
- ・部活動における体制整備と活動支援を創設すること。
- ・郷土愛の醸成や芸術とのふれあいによる心づくりを支援すること。

なお、具体的な政策については、現在見直しを行っている「まちづくり総合計画」に反映していくことになるが、現状の方針ということでご理解いただきたい。

審議第1号

●渡辺市長

次に「士別市教育大綱」について、事務局から説明を求める。

●三上部長

現在の大綱は、平成28年に定めたものである。大綱は市長の政策や思いを盛り込みな

から作成するものであるため、見直しすべきかどうかをご審議いただきたい。

●中峰教育長

大綱は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を根拠としており、必ず作成しなければならないものである。一方、教育振興基本計画は「教育基本法」を根拠としているが、努力義務であるなか、本市では作成していない。

文科省が示している大綱の定義では「地方公共団体が地域の実情に応じて策定するもので、その対象期間は4年から5年程度」とされてきた。実際に他の自治体で策定の4年後に見直しを行っている例もある。

また、本市では市長の任期に連動させ、4年ごとに総合計画を見直しているところであり、大綱と総合計画の整合性という意味合いからも、大綱を見直すタイミングにあると言える。

これまで、大綱はあまり変えるべきものではないとの考え方のもとに取扱われてきたが、次回の総合教育会議において提案できるよう検討を進めたいと考えている。

●渡辺市長

確かに、大綱での「理念」は、あまり変わるものでも、頻繁に変えるべきものでもない。しかし、当面の具体的「目標」や「方向性」は、必要に応じて見直してもよいと考える。まずは教育委員会会議において検討していただきたい。

審議第2号

●渡辺市長

次に「土別市まちづくり総合計画『第2期実行計画・展望計画』」について、事務局から説明を求める。

●大橋課長

本市の「まちづくり総合計画」は、計画期間を8年間としている。以前は「地方自治法」において総合計画の作成が義務付けられていたが、法改正により義務付けはなくなったが、本市では「土別市まちづくり基本条例」に基づき策定している。計画は「基本構想」、「基本計画」、「実行計画・展望計画」の3層からなる構造であるが、今年は計画の中間年にあたり「実行計画・展望計画」部分を見直すことになる。計画には101の施策があり、今回検証を行ったところである。先週、それぞれの事業に反映させるため、市長ヒアリングを実施した。今後、2回目の市長ヒアリングを行って事業の方向性を確認するとともに、市長の政策骨子を担当部局と共有し、3月には計画を策定する予定である。

●山田委員

実行計画は元々あったものだが、市長の政策の骨子を反映させるということか。

●渡辺市長

政策の骨子は選挙の際に訴えた内容である。課題解決の手法として総合計画のヒアリングを行うものである。担当部局と協議し、令和4年度予算にも反映させていく考えである。

●中峰教育長

委員の皆さんには、まだ計画の内容をご覧いただいていないが、教育委員会関連の事業については教育委員会会議においてすり合わせ、皆さんの意見をいただき計画に反映させていく考えである。

前回の総合計画までは10年スパンで計画を策定していたが、市長の任期に合わせた設定とし、市長の公約など市民との約束をより反映できるものとした。

●加藤委員

高校の魅力化について、本市には士別東高校と士別翔雲高校の2校があるが、東高校はとても魅力的な学校であり、今のままで良いと思っている。翔雲高校は道立の学校であり連携するのが難しいこともあるのではないかと。

●渡辺市長

高校の問題については議員時代に質問した経緯がある。東高校の魅力はよくわかっており、存続は必須のことと思っている。例えば在学中に資格が取得できるなどプラスアルファがあるともっとよい。確かに翔雲高校は道立であり、市として歯がゆい思いがあるが、高校の存続が地域の子どもを守ることになる。そのために市のスタンスとしてどうするかということである。翔雲高校の間口が減ると、生徒が市外に流出したり、偏差値の低下を招く恐れもある。どうすれば中学生が入学したいと思うような学校にできるか相談・検討中であり、次年度に向け調整していく。

●加藤委員

近隣の高校も自助努力している。今以上に生徒を集めるための施策はあるのか。

●渡辺市長

例えば部活動について、野球やウエイトリフティングなどの競技は施設もあり、指導体制も整っている。下宿など住むところがあればなお良いと思っている。他に学校が望んでいることなども聞き取ったうえで調整していきたい。財政健全化実行計画期間中であり、効果的な政策を検討している。

●加藤委員

市教委と道立高校という関係性で、お互いにどこまで信頼し合えるか、先の新型コロナウイルス感染症の対応での情報共有などからの疑問もある。果たして翔雲高校は、道と市の間ですり合わせできるのか。部活動に関しては支援が可能かもしれないと感じる。スムーズに進めるためには信頼関係が重要である。東高校は市立高校であり、行事などの度に訪問しているため状況は理解している。翔雲高校には行く機会も少なく、分からない点が

多い。

●馬場職務代理者

東高校は施設の老朽化が激しく、存続していくには修繕などの経費が必要となるため、理想と現実の間で揺れている状況と感じている。コロナ禍になる前は、市内の校長会や教頭会と一緒に東高や翔雲高校の校長などと交流する機会もあったが、翔雲高校については現在の校長がどんな人かもわからない。士別高校の時代には、サッカー部の顧問を慕って帯広などから生徒が集まったことがあった。ふとしたきっかけが大きな事なのだと思う。学力向上について、確かに塾に通うということも一つの方法だが、幼児教育も重要だと感じている。図書館を活用し、お金をかけずに早い段階から読み書きを覚えさせてはどうか。

●渡辺市長

東高校の校舎は木造であり相当老朽化している。新しくしたいとの思いはあるものの財政的に厳しい状況である。上士別地区で支えてきた学校であり、地域との関係が強いことから、みなさんの意見を伺って検討していきたい。

●馬場職務代理者

旧中多寄小学校の跡に移転してはどうかとの話があったが、東高校は上士別にあってこそだと感じている。学校を訪問した際には、どうしても校舎の状況が目についてしまう。存続を願っているが、財政面での負担も気になるところである。

審議第3号

●渡辺市長

次に、「令和4年度予算編成」について、事務局から説明を求める。

●三上部長

先ほど説明があった「まちづくり総合計画」の内容についても新年度予算に反映させる予定である。今後のスケジュールとしては、11月15日に職員向けの予算編成説明会が開催され、12月3日は総務部長査定事業、13日は市長査定事業の提出締切となる。年明けの1月上旬には市長査定事業のヒアリングを行い、1月下旬には内示、2月3週目頃に市議会予算委員会を3日間の日程で開催する予定である。

●中峰教育長

議会で議決をいただく案件については、全て教育委員会会議に諮ることになる。令和4年度予算案についても教育委員会会議においてお示しする。

●渡辺市長

教育に関する施策については教育委員会会議でご審議いただく。大綱の改正やいじめに関する重大事案が発生した場合には「総合教育会議」を開催する。

●中峰教育長

本会議終了後に教育委員会会議を開催し、原油価格の高騰による燃料費の補正や全国学力・学習状況調査の分析内容精査などの案件についてご審議いただく。

●加藤委員

旭川市の学校で発生した、「いじめが疑われる事案」について、旭川市長がコメントしていた。改めて教育委員会として本市で同様の事件が起こらないよう対応する必要がある。

●渡辺市長

報道されている内容によると、市教委や児童相談所の対応が焦点になるのではないかと感じている。ぜひ、現場に近い立場の方から提言・提案をいただきたい。

以上で総合教育会議を終了する。

【 会 議 終 了 】